

みずほCustomer Desk Report 2016/08/02号(As of 2016/08/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.34	1.1168	114.29	0.9694	1.3219	0.7587
SYD-NY High	102.68	1.1184	114.70	0.9702	1.3272	0.7616
SYD-NY Low	102.00	1.1155	113.99	0.9664	1.3162	0.7529
NY 5:00 PM	102.39	1.1162	114.31	0.9685	1.3175	0.7536
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.95/11.415		△25RR	1.310	Yen Call Over	

	債券市場	為替市況	商品市況
NY DOW	日本2年債	USD/CNH	CRB指数
NASDAQ	日本10年債	ドルインデックス	NY金
S&P	米国2年債		WTI
日経平均	米国5年債		Dubai Spot
TOPIX	米国10年債		
シカゴ日経先物	独10年債		
ロンドンFT	英10年債		
DAX	豪10年債		
ハンセン指数			
上海総合			
USDJPY 3M Vol			
USDJPY 6M Vol			
EURJPY 3M Vol			
EURJPY 6M Vol			

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
8月1日	10:15	米	ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-
	10:00	中	製造業PMI/非製造業PMI	7月 49.9/53.9	50.0/-
	10:45	中	財新・製造業PMI	7月 50.6	48.8
	17:00	欧	製造業PMI・確報値	7月 52.0	51.9
	22:45	米	製造業PMI・確報値	7月 52.9	52.9
	23:00	米	建設支出(前月比)	6月 -0.6%	0.5%
	23:00	米	ISM製造業景況指数	7月 52.6	53.0

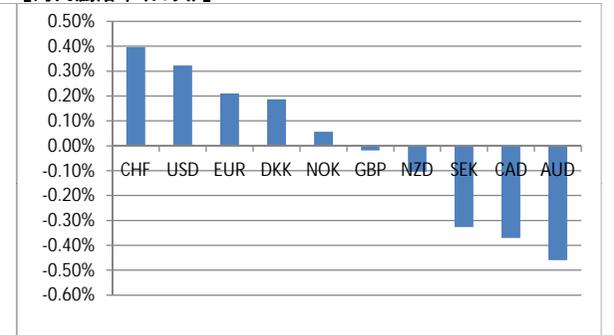
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
8月2日	10:30	豪	貿易収支	6月 -2.000M	-2.218M
	10:30	豪	住宅建設許可件数(前月比/前年比)	6月 0.8%/-2.4%	-5.2%/-9.1%
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.75%
	19:15	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	21:30	米	個人所得/個人支出	6月 0.3%/0.3%	0.2%/0.4%
	21:30	米	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.6%	0.2%/1.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	週明けのドル円相場は朝方に102円ちょうどまで下落するも、この水準では下げ止まり102円台半ばまで反発した後、102.34レベルで東京時間オープン。日経平均株価が前日比マイナスで寄り付くも、次第に下げ幅を縮小させるとドル円は102円台半ばまで上昇。中国7月製造業PMIは市場予想、前回値を下回った一方、中国7月非製造業PMIは前回値を上回る強弱まちまちな結果となり、ドル円の反応は限定的となった。その後はもみ合い推移の中で東京時間高値となる102.68まで上昇する局面も見られたが、特段の材料ない中で方向感に乏しい推移が続き、結局102.49レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、102.49レベルでオープン。序盤は、欧州銀を対象としたストレステストの結果が好感され、欧州株が上昇。ドル円も、102.61まで堅調に推移するも、ロシア空軍のヘリコプターMi-8がシリアで撃墜されたと報じられると、リスク回避の円買いに転じ102.14まで下落。102.23レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.3248レベルでオープン。英7月製造業PMIは英EU離脱国民投票後の景況感悪化が懸念されるも、ホント効果相殺し、7月の下げは49.1(6月52.4)に落ち着くと見込まれていたが、発表された結果は48.2と、約3年来の水準まで大幅に低下。これを受けて英利下げ観測が強まり、1.3162まで下落。1.3185レベルでNYに渡った。(ロンドントルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は102.23レベルでオープン。朝方発表になった米7月ISM指数が予想を下回ったことで、ドル円は102.21付近まで売りの動きが見られたが、一時的な反応に留まった。その後102円台半ばまで戻す局面も見られたが、中盤にさしかかり、原油が40ドルを割込む展開にダウが下げに転じたことも圧迫要因となり、ドル円は再び102.12まで軟化した。その後、市場は次の材料探しのムードが漂い、円相場はひとまず日本政府が発表する経済対策の詳細を確認したい模様で、ドル円は102円台前半の動きが続き、102.39レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1157レベルでNYオープン。原油の下落で株安や円高の動きは見られたものの、全体的に様子見の雰囲気強く、ユーロドルは1.11台後半での上下動となった。先週の上昇からのユーロドルの利益確定売りの動きは若干あったものの、1.11台半ばの水準はサポートされた。ユーロドルは1.1162レベルで海外市場へ渡った。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.80-102.60	1.1100-1.1200	114.00-114.80

【マーケットインプレッション】

大きなイベントを通過して為替相場は全体的に様子見となっている。昨晩は米国にて7月ISM製造業景況指数が発表され、予想比若干弱かったものの為替市場の反応は限定的だった。特に円相場については本日午後1時に予定されている臨時閣議で決定されると見られている本邦経済対策の詳細を確認したい意向のようである。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。